



知床科学委員会 しんぶん

河川工作物 アドバイザー会議 No.16



「河川工作物アドバイザー会議」では、災害から生活を守りながらサケ類が遡上できるように、各専門家が行政機関に対して、ダムの改良工事や遡上調査について助言をしています。しんぶんでは、その活動についてタイムリーな情報をお伝えします！

今回の会議

平成31年1月31日（木）に札幌市中央区のTKP札幌ビジネスセンター赤れんが前にて、今年度第2回目の会議を開催しました。

今回話し合ったこと

- ① 第41回世界遺産委員会決議の対応について
- ② 長期モニタリングについて
- ③ 第二次検討ダムについて
- ④ ルシャ川の取り扱いについて
- ⑤ その他

構成メンバー

中村 太士（座長）	北海道大学大学院 教授
荒木 仁志	北海道大学大学院 教授
ト部 浩一	北海道立総合研究機構水産研究本部 さけます・内水面水産試験場 主査
根岸 淳二郎	北海道大学大学院 准教授
森田 健太郎	水産研究・教育機構 北海道区水産研究所 主任研究員
安田 陽一	日本大学 教授
※桜井 泰憲	函館頭足類科学研究所 所長
※妹尾 優二	流域生態研究所 所長
※渡邊 康玄	北見工業大学 教授
※谷口 義則	名城大学 准教授

※オブザーバーとして参加して頂きました

■ 会議の内容について ■

第41回世界遺産委員会決議の対応について

■ 北海道森林管理局より「第41回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告」が昨年11月にユネスコに受理されたとの報告がありました。また、IUCN/SSCのサケ科魚類専門家グループから助言を受けるための知床招聘（しんぱん）については、平成31年9月頃を想定して準備していくことが話し合われました。

長期モニタリングについて

■ 北海道森林管理局・北海道より、過去に改良が行われたイワウベツ川、チエンベツ川、サシルイ川のダムの改良効果が持続的に発揮されているかを今後2年間で検証していくことの説明を行いました。

■ 北海道森林管理局より、本年度の長期モニタリング結果報告として知床半島の気温・河川水温の経年変化、オシヨロコマ生息密度、環境DNA解析による検出魚種などの報告を行いました。

【裏面に続く】



▲会議の様子

■会議の内容について■

第二次検討ダムについて

■北海道森林管理局より、オツカバケ川2号ダムの改良に関して、改良2年目となる今年度はダム通水部で1.5mの切り下げを行い、また河川の定点観測を行っているとの報告を行いました。

ルシャ川の取り扱いについて

■北海道から、今年からルシャ川のダムの改良に着手することが報告され、今後6年間で3つのダムの中央部を切り下げていくスケジュールの説明がありました。また、工事中のサケマスへの配慮などについて議論が行われました。

■北海道森林管理局より、ルシャ川を横断する道路の低い箇所を石組み河床路とする実証試験を行うための施工を平成30年に実施したと報告を行いました。

TOPIC!

河床路の実証試験に着手!!

北海道森林管理局は、ルシャ川において平成30年10月～11月に河床路の実証試験を行うための施工を実施しました。河床路の延長は33mで、石は大きなもので90cmサイズの巨石を使い、下流側の巨石に次の巨石を寝かせて被せていくような形で、かつ巨石と巨石の接点ができるだけ多くなるように組み合わせています。仕上げでは表面の巨石の隙間に、車両通行の障害とならないように土砂を入れて敷き均しています。



▲知床半島でのルシャ川の位置



着工前



施工中



完成後

今年から増水時の通水状況、車両通行に対する耐久性などをモニタリングしていく予定です。

道路を河床路に置き換えたことで、増水時には水が河床路に流れ込むようになったよ!



← 増水時の河床路への流れ (想定)

▲増水時に想定される河床路への水の流れ

会議の内容をもっと知りたい方はコチラ

知床データセンター
<http://dc.shiretoko-whc.com/>

■ 問合せ先 ■

北海道森林管理局 知床森林生態系保全センター
〒099-4355
斜里町ウトロ東番外地（国設知床野営場内）
TEL：0152-24-3466
FAX：0152-24-3477

■ 発行：林野庁北海道森林管理局
■ 制作：株式会社 森林環境リアライズ
発行日：2019年 3月 10日



川は、浸食・運搬・堆積という作用により私たちが生活している土地を形作ってきました。川に関わることを考える場合、流れや土砂の挙動を知り、これらの作用によって川がなりたいた形を理解する必要があります。人の手が加われば必ず川は反応しますが、すぐに反応したり徐々に反応したり様々です。また、川が違えば反応も違ってきます。川の個性を見極め、どのような反応がどの様に表れるのかを知るお手伝いができればと思っています。



オブザーバーの
わたなべ 渡邊です。

北見工業大学工学部社会環境系
河川防災システム研究室教授
洪水による災害防止・軽減ならびに
河川環境の保全を目的として、
洪水時の河道内の現象解明を中心に、
研究を進めています。